

令和6年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土に誇りと愛着を持ち、進んで未来を生き抜く力を身に付ける日振の子の育成					
基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、日振島の恵まれた自然や地域のよさを知ること、誇りや愛着を持ち、自ら進んで未来社会を生き抜くための確かな力を身に付ける児童の育成を目指した学校経営を推進する。					
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施		後期のみ
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A	A
			一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A A	A
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
	<p>(成果と課題) ○今年度は単学級なので集中して授業に取り組むことができた。授業内容が十分理解できているので余裕ができ、テングサや遠泳、塩づくりなど、地域資源を活用した学習を展開することができた。また、遊子小等との交流学習を行い、対話的・協働的な学びを保障することができた。 ●テスト等で学習成果が十分確認できているが、更に資質・能力を高めることができると考える。</p> <p>(改善策等) ・より多角的・多面的な評価を行い、資質能力の向上に努める。 ・地域資源を活用した学習を展開していく中で、地域への愛着等の視点を今以上に充実させ、今後の社会の作り手としての視点も加えていく。</p>					
	評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
	生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A A
②		児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A D	B
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート	A D A	B
			いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート	A A A	A
③		関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート	A A A	A
④		自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A	A
			自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート	A A	
<p>(成果と課題) ○保護者の方の家庭での対応、地域の方々の見守るコミュニティのおかげで、生徒指導面で大きな問題はなかった。中学校進学に向け、今後も交流学習等を継続して取り組み、架け橋期の充実を図って、人間関係調整力等を向上させていく。 ●タブレット等の活用やSNS等の利用も含め、情報モラル教育等、中学校生活を見据えた取組の充実が必要であると考えられる。</p> <p>(改善策等) ・交流学習の充実やゲストティーチャーの活用を念頭に、中学校生活を見据えた指導の充実を図っていく。 ・日常の学びを広い世界で生かす機会を効果的に設定し、実践的な能力を身に付けさせる。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B D	C
	②	働きやすい環境づくり 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	A
③	他の教職員のサポート体制の充実 教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○兼務校業務を担っている遊子小教職員や本校に新しく配置されたスクールヘルスリーダー、非常勤講師を含め、体制としては大いに効果があったと考える。</p> <p>●校務の大部分を一人で担っているため、時間外勤務が過労死ラインを超えており、仕事内容を精査する必要がある。</p> <p>●大雨等の非常変災時に道路状況を確認する際、安全面での心配がある。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・テレワークを活用し、週休日等に帰省先でゆったりした気持ちで仕事ができるようにする。</p> <p>・非常変災時に地域の方のサポートを受けるために、連絡ネットワーク体制の構築を進めていく。</p> <p>・授業中の電話対応が難しい場合があるので、市教委に依頼して留守番電話の導入を検討していただく。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	
			・保護者アンケート	A	
②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
③	来校・相談体制 来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談できやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○地域の方々の協力のおかげで、地域資源を活用した体験活動等を今まで以上に充実させることができた。</p> <p>●運動会、文化祭、卒業式等について、大まかな方向性は決まっているが、細かな点は詰めていく必要がある。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・日振島大運動会実行委員会等で御意見をいただき、改善を加えてよりよいものにしていきたい。また、来年度以降の見通しを持ちながら、持続可能な学校行事等の在り方についても検討していく。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満